

2020. 3. 10

畑 啓之

新型コロナウイルスの感染の有無を15～30分で検査できるキットが開発された

今回の新型コロナウイルスの感染拡大を阻止するためには、今実施されている諸政策に加えて、だれが新型コロナウイルスに感染しているかを簡易に、速やかに特定することが重要となる。

現在の検査はPCR法であり、検査結果が出るまでには時間を要し、しかも日本国内においてはその検査能力に限界があった。国会においても、この検査能力の低いことが度々取り上げられていた。

この発表された新型コロナウイルスの検査方法が実用化されると、新型コロナウイルス患者の速やかな特定、伝播抑制、そして伝播経路の追跡と、多面において今回のウイルス伝播の抑制につながるものと期待される。

神戸新聞 2020.3.10

新型コロナウイルスの検査法開発

横浜市大、実用化へ

横浜市立大の研究チームは9日、新型コロナウイルス感染の新検査法を開発したと発表した。血液から分離した血清を調べて、ウイルスに対抗して免疫がつくる抗体を検出する仕組み。検査キットが実用化されれば15～30分で結果

が分かる。外部に委託せず、病院内で検査を行えるようになることが期待される。

チームが新検査法を感染が分かっている患者6人に実施したところ、いずれも陽性反応が確認された。感染早期は抗体が見つかりにくいため、発症から7～10日経過した患者に有効という。

現在行われているのは、遺伝子から感染を調べるPCR検査で、結果が出るまでに4～6時間程度待つ必要がある。病院から外部に検体を送る手間なども掛かるため、多くの検査を行うのが難しくなっている。



新型コロナウイルスの検査キットのイメージ図(横浜市立大提供)

PCR 検査 ポリメラーゼ連鎖反応を利用

特定の DNA 断片を選択的に増殖させる遺伝子増幅技術

今回の検査方法 抗原抗体反応の利用